

## <慈しみの約束>

エレミヤ29：10～14



バビロンへの捕囚

【リーヴァイ・ストラウスのお話】

神を信じる……自分が神によって創られてここに在ること、存在していることを認めること。神に生かされた者だと認めることから、すべてが始まる。

都エルサレムがバビロン帝国によって陥落し、国が滅亡する寸前。

希望など見いだせない真っ暗闇の中で、希望ある将来について語られた。まことに、主はこう仰せられる。「バビロンに七十年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。 【10節】

\*いつくしみの約束 (2017年版訳)

直接的には、バビロン帝国の捕囚からの解放について。 私たちにとっては……?

神様に愛され、神様の計画のうちに入れられている！

辿る道のりには、私達の人生には試練や逆境もやってくる。

父がかわいがる子をしかるように、主は愛する者をしかる。 箴言 3:12

【ある牧師夫妻のお話】

私は、主のみわざを思い起こそう。まことに、昔からのあなたの奇しいわざを思い起こそう。  
私は、あなたのなされたすべてのことに思いを巡らし、あなたのみわざを、静かに考えよう。

詩篇 77 : 11, 12

「大変！」と思われるようなことの多い毎日。でも、主に目を上げて  
小さな感謝を捧げる。そして祈る。 『良かった探し』

### 【ハンセン病の患者さんの告白】

- ◆バビロン捕囚への恐怖。これかどうなるかという未来への不安。それを抱える民へ  
わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。一主の御告げ—  
それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与える  
ためのものだ。【11節】

神は、試練の中にある者をただ慰めるために、  
実態のない言葉を語れたのだろうか？

No !

万軍の主は、こう仰せられる。「エルサレムからバビロンへわたしが引いて行かせた  
すべての捕囚の民に。

家を建てて住みつき、畑を作って、その実を食べよ。妻をめぐって、息子、娘を生み、  
あなたがたの息子には妻をめぐり、娘には夫を与えて、息子、娘を産ませ、そこでふえよ。  
滅ってはならない。わたしがあなたがたを引いて行ったその町の繁栄を求め、そのために  
主に祈れ。その繁栄は、あなたがたの繁栄になるのだから。」 【5～7節】

今、すべきことをしっかりやりなさい。そして、後の世代の者の  
ためにも繁栄させ、その日のために備えなさい。

『主に信頼して、その日を待ち望む』という信仰が求められる。